

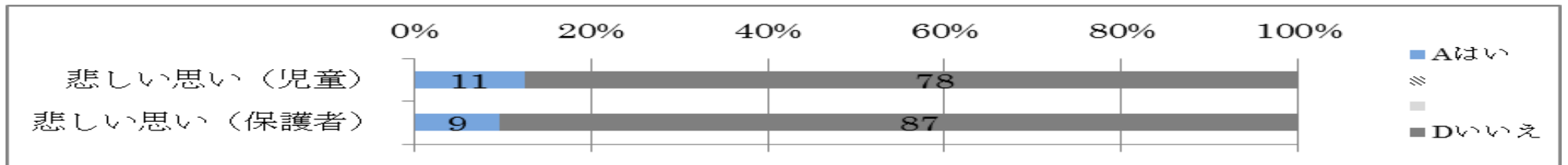
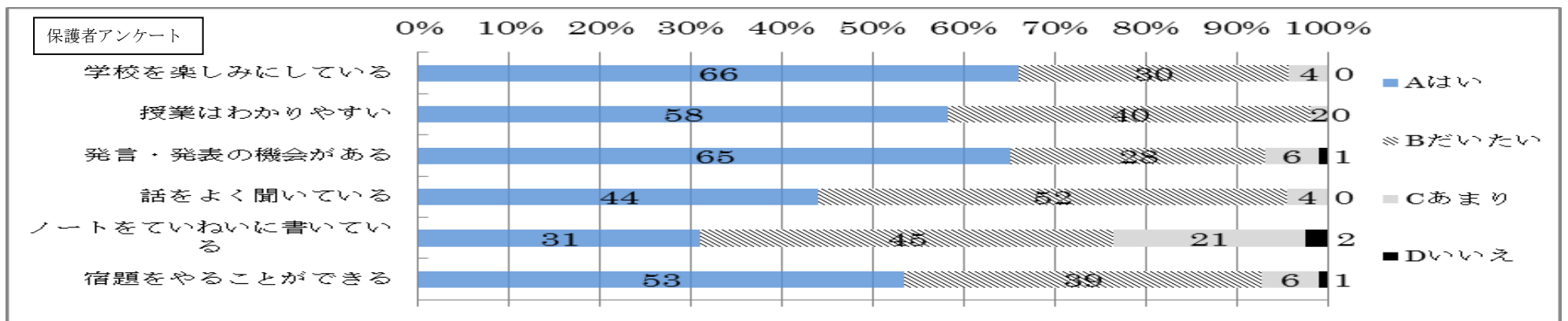
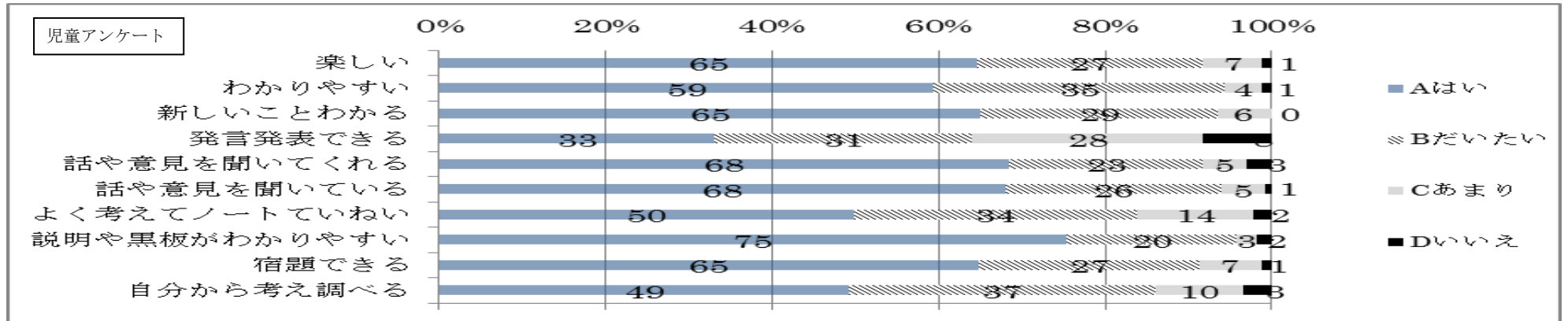
保護者様

一学期学校生活・授業アンケート結果について

豊殿小学校長 田中浩寿

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。学校では、運動会に向け全校一丸となって取り組んでいます。

さて、7月に児童の皆さんならびに保護者の皆様にご協力いただきました、「授業アンケート」の集計結果を下記の通りお知らせします。ご協力ありがとうございました。学校では、結果と考察をもとに、分かりやすく、学力のつく授業をめざし努力して参りたいと考えています。



【児童アンケートから】



○全体的な傾向はA(はい)とB(だいたい)をあわせた数値が90%を超える項目が多く、学校生活や授業で前向きに取り組んでいる様子が読み取れます。このまま同じような結果になるように引き続き努力をして参ります。

伸びたところ

- ・「授業では、先生や友だちの話を、よく聞いていますか」で、Aが68%（昨年比+4）でした。話を聞く姿勢は、授業の基本であり、自分の考えと友の考えを比べて聞くことで学びの深まりや、友との学び合いにつながります。
- ・「宿題や授業の練習問題をしっかりとやることのできる」で、Aが65%（昨年比+7）、AとBを合わせた数値でも92%（昨年比+3）でした。その日の学習内容の復習として宿題の内容を選んでいることで学んだことがすぐに活かしているようです。そこから、学習内容をよく理解して自らの力で問題に取り組むことができ自信をつけている姿がうかがえます。
- ・「悲しい思いをしたことがありますか」の項目は、悲しい思いをしたお子さんが11%（昨年比-3）となりました。友だちと良好な関係を築いていると共に、何かあったときには事実やお互いの気持ちを確かめ解決したり、だれかに相談したりして乗り越えることができていると思われる。さらに、お互いに関心を持ち合い、助け合える関係を作っていけるように考えていきます。

課題となっているところ

- ・「授業では、発言したり発表したりできることが多いですか。」でAとBを合わせた数値が64%（昨年比-12）と大きく落ち込みました。「授業では、先生や友だちの話を、よく聞いていますか」の項目で伸びが見られているため、心を拓いて学習に向かえるよう、子ども達の声をもっと聞きながら学級作りや授業作りに改善を図っていきます。また、ペア活動やグループ活動など多様な表現の場を設け、関わり合いながら自分の考えを発信できるようにしていきます。
- ・「授業では、自分で考えたり、自分から調べたりできますか」の項目でAが49%と50%を割り込んでしまいました。何のために調べるのか目的意識をはっきりともてるねらいを設定し、自ら進んで学びに向かう意欲とエネルギーが生まれる学習を目指していきます。

【保護者アンケートから】

○ほとんどの項目で、A(はい)とB(だいたい)をあわせた数値が前年度同様90%以上となりました。引き続きこのような結果になるように努力をして参ります。また、A評価の割合が増えていくようにさらに授業改善に取り組みます。

課題となっているところ

- ・「ノートを丁寧に書いて学習していますか」のAが31%（昨年比-3）でした。学習の中に聞く時間と書く時間を位置づけ、授業のねらいと学習したことが分かり、復習に活かせるノートを目指して指導を進めていきます。



【アンケートの結果から、これからの授業実践で取り組んでいきたいこと】

- ・心を拓いて安心して発言できるクラスを目指して、友と共に学ぶ喜びを得られるように多様な発信の場を設け、仲間のお話を聞き合う空気を作っていきます。
- ・子どもが学習主体になれる授業を目指して、子どもの声を引き出し、ねらいをはっきりさせ、授業の流れを板書し、ねらいと振り返りが一致するよう授業改善をしていきます。
- ・めあて・わかったこと・まとめ等のカードを使い授業の流れがわかるように黒板を使っていきます。そこから、その時間に考えたこと・学んだことが分かるようなノート指導へつなげていきます。
- ・悲しい思いをしている子どもたちをなくすために、子どもたちの書いた「紡ぐ」や日記、話す言葉、相談週間など様々な機会を得て全職員で子どもたちの声を聴いていきます。